

## 案内

### 青山学院創立記念日

11月16日(金)は、学院創立138周年記念日です。学院のルーツをたどると、1874(明治7)年に東京・麻布の本村町に開設されたスクーンメーカーの女子小学校に行きつきます。ドーラ・E・スクーンメーカー(1851~1934)は、23歳の若さで米国のメソジスト監督教会から初めて日本に派遣された女性宣教師でした。彼女は米国で小・中学校の教師をした経験を生かし、小学校、しかも女子教育からその働きを開始しました。

しかし当時の封建的な日本社会は女子教育を行うまで発展しておらず、教具もままならないまま、10畳たらずの部屋に男子を含めて数人での授業でした。やがてそれが、「救世学校」「海岸女学校」と発展し、別に発展してきた「美會神学校」「耕教学舎(東京英学校)」と合流して青山の地で「青山学院」となり、現在に至っています。その間の多くの先達の信仰的な祈りと努力が、今もキリスト教信仰にもとづいた学問教育の伝統となって青山学院に脈々と流れています。

### 本多庸一先生召天100周年記念 ガウチャー記念礼拝堂パイプオルガン奉獻10周年記念 オルガンコンサート

日時 11月17日(土) 15時開演  
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂  
演奏 ヨハネス・ゲッフार्ट(ケルン国立音楽大学教授)  
入場無料

### ランチタイム・コンサート

日時 11月27日(火) 12時35分~13時5分  
場所 相模原キャンパス ウェスレー・チャペル  
演奏 坂戸 真美(大学オルガニスト)

### 青山学院クリスマス・ツリー点火祭 ~降誕を待ち望む礼拝~

イエス・キリストの降誕を待望する「待降節」を期して礼拝を行い、各キャンパスのクリスマス・ツリーに灯をともします。当日は5時限目を30分短縮して行います。

日時 11月30日(金) 相模原キャンパス 16時30分~17時10分  
青山キャンパス 17時20分~18時

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切って下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

# 青山学院大学礼拝週報

2012. 11. 12.  
No. 25

神の国節第24週

## キリスト教のシンボル [23]

### 「鐘」

「鐘」は古くから教会のシンボルとしての役割を果たしてきました。日本ではあまり教会の鐘というイメージが浸透していませんが、ヨーロッパの教会の鐘が街中に鳴り響く様子は馴染みの情景です。教会の鐘は、街中に時を告げ知らせたり、礼拝の開始や終了の合図をしたりしながら、人々の生活のリズムを作り上げてきました。

人々は、鐘の音を聞いた時に、神の臨在を感じ、聖書のメッセージを想い起こし、自らの生活を律してきたのです。いくつかの教会では、礼拝の開始時や終了時だけでなく、「主の祈り」を祈るときや聖礼典が執行される時にも鐘を鳴らします。それは、やむを得ない事情で教会に集えない人たちも、その瞬間を覚えて共に祈ることのできるようになるためです。



## 今年度の主題聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、  
忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 第5章3、4節)